

育成会 かわさき



知的障害者親の会 会報 No.211

2024. 2. 1

新年のごあいさつ

川崎市育成会手をむすぶ親の会
会長 美和 とよみ

皆様、お元気で新年をお迎えのことと存じます。去年は、対面活動が増え、皆様とお会いする機会が増えたことを大変うれしく思っています。まだまだコロナやインフルエンザ感染の心配もありますが、より多くの方に参加していただけるよう、役員一同、力を合わせて活動を進めてまいります。ご支援ご協力くださいますよう、よろしく願いいたします。



さて、令和6年4月から「通過型グループホーム」が制度化される予定です。一人暮らしへの移行を希望する者について、本人の意思を尊重した地域生活を支援するために、定期的な巡回訪問や随時の対応など適切な支援を行うサービス（自立生活援助）を新たに創設します。障害のある人にとって、住まいの選択肢が増えることは喜ばしいことだと思います。ただ、一人暮らしには多くのサービスと支援者が必要になります。それらを確保して、安心安全な生活を継続できるのかと不安になります。行政においてはこのことを踏まえた上で、計画を進めていただきたいと切に願います。

また、「障害者差別解消法」が4月より、事業者（民間事業者を含む）による合理的配慮の提供が義務化されます。日々の生活の中で「これっておかしいじゃない」と思われることがありましたら、相談して下さい。安心して暮らす地域社会に繋がります。

当会は知的障害者の理解者が増えることを願って、かわさきキャラバン隊として啓発活動を行っています。この活動に興味を持って下さる方が、少しずつではありますが増えてきたことをうれしく思っています。

1月13日（土）に川崎市民プラザに於いて「二十歳を祝う会」が開催されました。二十歳を迎えられた方はもちろんですが、保護者の方々にもお祝い申し上げます。これからの人生が楽しいものになるよう、皆様と共に考えていきたいと思えます。

最後になりますが、「令和6年石川県能登半島地震」で被害にあわれた皆さまへ心よりお見舞い申し上げます。

ホームページ公開

「川崎市育成会手をむすぶ親の会」で、検索してください。



令和6年二十歳を祝う会

1月13日(土)川崎市民プラザに於いて「二十歳を祝う会」が開催され、112人の新二十歳の方が出席しました。コロナ禍の昨年は密を避けて2部制でしたが、今年は1部制に戻り、記念写真は学校別に市長と一緒に写真撮影が行われて、会場は喜びの笑顔でいっぱいになりました。



来賓祝辞として福田紀彦川崎市長から「二十歳を迎えられた皆さん、誠におめでとうございます。そしてご家族の皆様にお慶びを申し上げます。今年は市制100周年を迎えます。障害のある人ない人など多様な人が集まり、暮し、働いてきたから川崎は大きく発展してきました。この多様性こそが発展の源なのです。皆さんもぜひ自分の個性や特性を大事にしてください。そしてそれぞれの目標に向かい、自分なりのペースで頑張っていていただくことを期待します。」とお祝いと励ましの言葉が贈られました。

続いて、青木功雄川崎市議会議長と、今富子川崎市社会福祉協議会副会長からもお祝いの言葉をいただきました。

最後に新二十歳へのエールとして、洗足学園音楽大学生のヴァイオリンとピアノによる「アナと雪の女王/Let it Go～ありのまままで～」の演奏があり、華やかな雰囲気の中、拍手とともに「二十歳を祝う会」を終了しました。

『手をつなぐ』を購読しませんか!!

全国手をつなぐ育成会連合会発行の機関紙『手をつなぐ』は、身近な課題から障害福祉施策まで、暮らしに役立つ最新情報です。年間購読料は3,900円です。関心のある方は、ぜひ、各支部役員までご連絡をお願いします。



一般社団法人
全国手をつなぐ育成会連合会の
会員の皆様へ

手をつなぐがん保険

(国体総合生活保険)

障がいのある方とそこご家族をワイドにお守りする保険です

なぜ障がいのある息子はがん保険に加入できないのでしょうか?*

(*)ぜんち共済のお客アンケートより

久保会長とぜんち共済社長の榎本が「手をつなぐがん保険」に対する思いを対談形式で語っています。また、又村事務局長による加入方法のご案内もあります。動画を是非ご覧ください!!

動画はこちら



<https://youtu.be/MU8sw5lIByk>

特長1



代理手続き
代理告知が可能

障がいのある方向け
プラン

特長2



告知対象
疾患の緩和

障がいのある方向け
プラン

特長3



“親なきあと”に
備える補償

障がいのある方
ご家族向けプラン

手をつなぐがん保険に興味を持たれた方は
下記お問い合わせ先(取扱代理店)に資料請求を
お待ちしております。

【お問い合わせ先取扱代理店】

ぜんち共済株式会社

〒102-0073
東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階

0120-322-150

TEL: 03-6910-0850 / FAX: 03-6910-0851

URL: <http://www.z-kyosai.com/>

MAIL: gan@z-kyosai.com

(営業時間 平日9:00~17:00(土日・祝日・年末年始を除く))

たった1分

スマホでカンタン資料請求

※QRコードはデンソーウェブの
登録商標です。



【引受保険会社】

東京海上日動火災保険株式会社

公務第一東京公務課

〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4

TEL: 03-3515-4126 (営業時間: 平日9:00~17:00)

この広告は、「手をつなぐがん保険」の概要をご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「パンフレット兼重要事項説明書」をよくお読みください。「手をつなぐがん保険」は国体総合生活保険のペイトネームです。ご不明な点等がある場合は、代理店までお問い合わせください。

2022年5月作成 22-TC00935

新二十歳誓いの言葉

新二十歳代表 清水 結衣

私は、川崎市立中央支援学校分教室を卒業し、現在ポピンズナーサリースクールという保育園で仕事をしています。

分教室での3年間を思い返すと、新型感染症で多くの行事や学習が中止となる、大変な学校生活でした。新型感染症のせいで実習が出来ず不安でしたが、3年生になるとようやく念願の保育園での実習が出来ました。

保育の現場では、担任の先生がお子様一人ひとりに合わせて、関わり方を変えていることを学びました。声のかけ方により、お子様の反応が違うことにおどろきました。自分はハキハキしゃべるのが苦手だったので、実習後お子様に負けられないように言葉をハキハキさせるよう頑張りました。後期の実習を経て、就職が決まったときはとてもうれしかったです。

就職した1年目は、一人のお子様を見るのが精いっぱいでした。しかし他の保育士の方を見て、一人ひとりの個性にあわせて、お子様に合った言葉かけができるよう心がけました。

その結果2年目となった今では、複数のお子様を見る事が出来るようになりました。今はお子様の成長を見て、日々感動しながら過ごしています。

これからの目標は、お子様についてもっと学ぶため、保育士資格を取ることです。そして私は明るい性格なので、家族や友達やお子様たち、職場の方たちにも元気を与えられるような存在になっていきます。



新二十歳代表 齊藤 菜々美

本日は、20歳という節目を迎えた私たちのためにこのような素敵な式典を開いていただき、誠にありがとうございます。

福田市長をはじめ、ご来賓の皆様からお祝いの言葉をいただき、心よりお礼申し上げます。

また、お忙しい中この日のために準備を進めてくださった関係者の皆様にも深くお礼申し上げます。

私たちはみな、それぞれ障がいを抱えて今日まで生きてきました。振り返ってみると、ここまでの道のりは決して楽なものではなかったと思います。時には周りとは異なる自分に苦しみ、悩んだ日もありました。しかし、家族や学校の先生方、友達に助けられながら、また自分で自分のことを励ましなが、乗り越えることができました。

私は今大学に通っています。大学でたくさんの仲間に出会い、たくさんのことを経験しました。楽しいことだけではなく、大変なこともありますがどの経験も私を成長させてくれたと思います。卒業後に自信をもって社会人になれるよう、残りの2年間も大切に過ごしていきたいです。

最後になりますが、今まで支えてくださった方々への感謝を忘れず、これからは恩返しができるようにより一層頑張っていくことをここに誓います。温かく見守っていただき。以上を持ちまして誓いの言葉とさせていただきます。



第57回手をつなぐ育成会関東甲信越大会 栃木大会

副会長 加藤 敦子

令和5年11月8日(土)第57回手をつなぐ育成会関東甲信越大会栃木大会が開催され、当会からは10名と本人会2名が参加しました。場所は宇都宮市にある栃木県総合文化センター。大会テーマは「自分らしくこの地域で豊かに暮らしたい」です。



式典前のアトラクションとして、栃木県本人部会ひまわりの会の華やかなミニコンサートがあり、その後式典が始まりました。まず、主催者である小島幸子会長の挨拶、栃木県副知事や佐々木桃子全育連会長などの来賓挨拶がありました。小島会長は「オンラインかハイブリット開催で悩んだが、皆の顔が見られて一同に集まれて嬉しい」と話されました。この日は来賓や出演者などを含めて約480人が参集したそうです。

全体会の中央報告情勢では、又村あおい常務理事から、法制度の動きと全育連の動きについて報告がありました。地域生活拠点施設を本当に必要としているのは知的障害の人たちであり、機能がしっかり果たされているかを評価する必要があること、地域生活移行における相談支援事業や居住支援の拡充、成年後見制度の見直しなど、多岐にわたり解説されました。また、当会でも行っている啓発キャラバン隊が全国に広まりつつあり、分かりにくい知的・発達障害の特性を多くの人に知ってもらう啓発活動の効果を説明。来年の障害者差別解消法改正に向けて、今後の活動の重要性を感じました。

最後に、大会宣言、次期開催地挨拶(新潟県)、閉会の言葉で全体会を締めくくりました。

第1分科会

「障害のある人をまもるために 育成会の活動を」
～障害者権利条約の総括所見から～

会計 梅田 順子

1. 基調講演 関哉 直人 氏(弁護士)

今年北欧に視察に行き、日本とのインクルーシブ教育の違いを見てきました。分離教育が当たり前になっている日本とは違い、どのような教育を受けるのかは本人が選ぶものでした。その隔たりを埋めるためには、一般の人たちの理解を深めるための啓発活動は重要なものになります。



関哉 直人 氏

2. シンポジウム

シンポジスト

- ・関哉 直人 氏(前掲)
- ・矢野 一隆 氏(ピース&ピース)
- ・加藤 永歳 氏(大田区立障がい者総合サポートセンター 相談員)
- ・矢野 峻介 氏(社会福祉法人 原町成年寮 支援員)

コーディネーター

田中 正博 氏(国立のぞみの園 理事長)

障害者の恋愛や結婚についてどのようなサポートをしているのか、実例を挙げたお話がありました。また、親子の関係や家族間での虐待の有無など、身につまされる話題もありました。様々な困りごとを軽減するために社会の理解は不可欠です。そして啓発活動とは、たくさんの人を巻き込んで障害者がいて当たり前の社会を築く一助になる大切な活動であると、改めて感じました。



第2分科会

「教えて！私たちの子どもの卒業後の暮らし」

会計 三浦 ひろみ

1. 基調講演 菊地 月香 氏 (社会福祉法人 同愛会 理事長)

卒業後の様々な進路先の現状と課題、また親なき後の住まいの場を含めた暮らしについて、話がありました。切れ目なくサポートするためにサービスの種別を増やしたり、選べる選択肢を増やせるように、様々なサービスを展開しているそうです。



菊地 月香 氏

2. シンポジウム

シンポジスト

- ・菊地 月香 氏 (前掲)
- ・厚木 喬 氏 (栃木市役所 保健福祉部障がい福祉課係長)
- ・丹羽 彩文 氏 (社会福祉法人 昴 理事長)
- ・根本 昌彦 氏 (国立のぞみの園 看護師)



シンポジストの皆さん

コーディネーター 又村 あおい 氏 (全育連 常務理事)

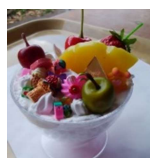
基調講演の菊地氏のほか、行政の厚木氏は障害の重度化・高齢化に備えた地域生活支援拠点「栃木市くらしだいじネット」の構築からこれまでの整備について。昴の丹羽氏は行動障害や医療的ケアの必要な人の住まいの場（グループホーム）のこと。

看護師の根本氏は障害のある人の日々の健康管理についてなど、それぞれの立場から話がありました。

どのお話も一人一人の意思や状況をくみ取り、ご本人や家族の希望に寄り添い、年齢に応じ必要とされるサポートやサービスに対応するべく支援体制を整備し、さらにいろいろな機関と連携して、卒業後から高齢までの長期にわたる支援の形を具体的に想像できるようなお話でした。様々な視点から日常の暮らしを見つめ直し、新たな気づきとたくさんの学びのある分科会でした。

本人大会 バスツアー：那須高原 お菓子の城 他

全国手をつなぐ育成会連合会「関東甲信越大会栃木大会」に私たちの広場メンバーと支援者で参加しました。穏やかな秋の一日、会場の銀杏が黄金色に輝いていました。式典前の本人部会「ひまわりの会」のミニコンサートに参加。「自然体で音楽を楽しむ」のコメント通り「輪になって踊ろう」「マツケンサンバ」に合わせて、私たちも「オレ!!」と手拍子をし、会場全体が盛り上がりました。



今回の体験活動は那須高原のおかしの城で、高速にて1時間半の移動です。車中、ガイドさんの丁寧な説明と、車窓からの景色、山々の紅葉にほっと一息し、「栃木県」を知ることができました。1日中、グループ毎に世話人が付き、気づかいしていただきました。また、グループメンバーは同じ年と親近感も湧き、楽しく交流と活動ができました。デコススイーツ作りの体験も個性あふれる作品ができ満足げでした。

1日充実した時間を過ごし、那須のお土産を手に帰宅の途に着きました。(支援者 針木)

「関東甲信越大会栃木大会」に参加し、とても有意義な一日を過ごせました。式典・全体会・分科会と充実した内容に心弾ませ、新たに問題意識することも増えました。開催に向けて様々な協力くださった皆様に感謝いたします。

今回は、新潟県開催です。みんなで参加しましょう。



支部通信

中原支部 懇談会

中原支部長 西澤 知子

10月30日(月)福祉パルなかはら研修室に於いて、中原支部懇談会を開催しました。コロナをはじめ感染症の流行を鑑みて、中原支部として集まることに躊躇していましたが、思い切って対面での支部懇談会を計画したところ、8名の会員の参加があり、会からは美和会長、三浦会計の出席がありました。



自己紹介の後、近況や悩みを語り合い1時間30分と短い時間でしたが福祉サービスや施設、病院などについて情報交換することができました。

会長の「福祉サービスのことを知っていて使わない人、知らずに使っていない人がいるが、使えるサービスは使いましょう」と話がありました。語り合うことで持っている不安が軽減することを実感しました。感染症が下火となって、来年度もまた懇談会を開くことができることを願っています。

川崎支部 勉強会

川崎支部長 安達 ゆかり

10月12日(木)10時より「かわさき地域生活支援拠点 たじま1階地域交流スペース」にて開催しました。今回のテーマは『わが子に合った制度やサービスを考えよう』、たじま家庭支援センター所長の江良泰成氏を講師にお招きし、お話を聞きました。特にグループホームと入所施設の違いを丁寧に説明していただき、どちらを選ぶにしても体験宿泊をした方がよいとのことでした。その施設になじめるかが一番大切だそうで、障害のある方の立場になって支援をされていることに、とても感動しました。



その後、参加された皆さんの近況や、お子さんたちの様子などを伺いました。参加された方々のご協力、和やかに会を終了することができました。

川崎支部 川崎区社協福祉まつりに参加

川崎支部 阿部 多賀子

11月18日(土)川崎市教育文化会館にて、川崎市川崎区社会福祉協議会主催の「川崎区社協福祉まつり」が4年ぶりに開催されました。川崎支部からは、当会の紹介と「知的障害疑似体験」で参加しました。おおよそ40名の方が、ブースに足を運んでくれました。



「知的障害疑似体験」では、ビニール手袋を付けてのシール貼り(知的障害者の不器用さを体験してもらう)や、ある写真を見てもらい「何の写真だったか?」の体験をしてもらいました。最後にその体験の種明かし(説明)をすると、皆さんとても納得して「そうなんだ」と理解をしてくれました。自分が実際に困った体験をすると、相手の気持ちがよりわかります。「体験して良かった」の声があり、うれしくなりました。

多摩支部 おしゃべり多摩

多摩支部長 神田 明子

12月8日(金)福祉パルたま研修室にて、「おしゃべり多摩」を行いました。まず、子どもがてんかんの発作で、その後発熱があったという話から自分たちの子どもの発作状況や通院の時はどうしているなどの情報交換、学校に通っていたころの話などで盛り上がりました。高津区に11月新規開設の「ナーシングピア子母口」の施設の充実さに驚きました。このようにいつも他愛ない話、見学した施設の報告、制度の改正などをみんなで話し合っています。



今回も、障害のある小さな子どもさんを育てている方たちに情報としてお伝えできたらと思う話が盛りだくさんでした。

権利擁護委員会

かわさきキャラバン隊（知的障害疑似体験）講演

☆10月25日（水）宮前区向丘出張所2階大会議室に於いて向丘地区社会福祉協議会 障がい児（者）福祉委員会主催の「みんなちがってみんないい」～知的障がいの理解～の講座で、キャラバン隊講演を行いました。参加者は38名でした。

皆さん一つ一つの疑似体験に真剣に参加し、緊張の中にも大変うれしく思いました。

障がい児（者）福祉委員長から「1年越しで準備を重ねて、講演を開くことができた」と開会の挨拶があり、副委員長は閉会の挨拶で「住みやすい福祉のまちになるように学んでいきたい」と話がありました。



☆11月11日（土）生活支援センター「きまっしー」主催、宮前地区会館「あーる工房2階」にて、かわさきキャラバン隊の知的障害疑似体験講演を行いました。参加者は15名でした。

疑似体験では、参加者に最後に種明かしをして「へー」と感心したり、「そうなんだ」と理解され、知的障害者を知ってもらいたい機会を作れたかなと思います。



☆11月14日（火）秋晴れの中、多摩市民館4階第一会議室に於いて、川崎市多摩区社会福祉協議会福祉教育推進委員会主催の福祉教育セミナー「知的障害ってどんな障害？～疑似体験を通して理解を深める～」の講師としてかわさきキャラバン隊知的障害疑似体験講演を行いました。参加者は、多摩区でボランティア活動をしている方が多く24名でした。一つ一つの疑似体験に積極的な発言があり、会場は和やかな雰囲気になりました。



それぞれの講演では、会の紹介の後、親の話2つと疑似体験4つ、そして朗読のプログラムを行いました。今年度から、Zoomではなく出張講演が多くなり、参加者の表情が見えるのがうれしいです。この活動が一助となり、皆さんに知的障害者理解の輪が広がってくれたら幸いです。

障害基礎年金学習会

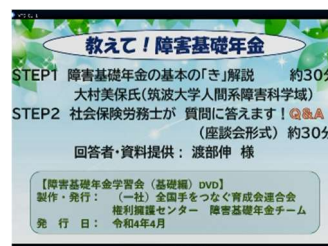
権利擁護副委員長 西澤 知子



11月6日（月）てくのかわさき2階てくのホールに於いて、障害基礎年金学習会「教えて！障害基礎年金」を行い、46名の参加がありました。

はじめに、全国手をつなぐ育成会連合会権利擁護センター障害基礎年金チーム作成のDVD、講演会【障害基礎年金の基本の「き」】と、座談会【社会保険労務士さんに「ここ」を聞いてみよう】を視聴してもらいました。続いて、近年年金申請した先輩が体験談を話してくれました。障害基礎年金についての関心は高く、参加した方々はメモをとりながら熱心に耳を傾けていました。終了時間が迫り、質問の時間が取れなかったことが残念でした。

この学習会が、これから申請する方々の不安の軽減になり、手続きに役立てば幸いです。また育成会の活動を知ってもらおうきっかけになればうれしいです。



第14回全国手をつなぐ育成会 権利擁護セミナー (in 島根)

1月7日(火) くにびきメッセ 小ホールの会場とオンラインで開催され、当会はオンラインで参加しました。テーマは「性を考える」です。

1. 基調講演：テーマ「知的障害のある人が恋愛できる社会にするために」

－『普通』の恋愛『普通』の出産…『普通』ってなに？－

島根大学人間科学部福祉社会コース講師 武子 愛氏

性は「人権」。障害のある方の結婚率と今と昔の結婚感。保護者と現場それぞれが感じる知的障害のある人の性的ニーズの課題。そして性的権利保障と性被害防止のバランスの難しさ等…を話されました。また、「経験することを支援する」として、武子氏が実際に関わったお見合いパーティーのお話もありました。



2. シンポジウム：「性を考える」

シンポジニスト

松村 真美 氏 (社会福祉法人南高愛隣会常務理事)

岩本 友広 氏 (社会福祉法人南高愛隣会瑞宝和太鼓団長)

辻 浩一郎 氏 (特定非営利活動法人ふれあいネットワーク・ピア理事長)

久保 厚子 氏 (一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会顧問)

コーディネーター

曾根 直樹 氏 (全育連権利擁護センター専門委員)

松村氏より、ぶ～けの取り組みについてお話がありました。そして、その支援を受けながら結婚生活を続けている岩本氏、辻氏には出会いから結婚子育てとこれまでを、どのような支援を受けながら過ごしてきたかをお話いただきました。お二人ともグループホームで結婚生活をされているとの事。大変な決断やご苦労もあったようですが、微笑ましく幸せいっぱいな様子でお話をされていたのが大変印象的でした。また、久保氏からは親の立場からとして話がありました。

基調講演、シンポジウムともに、性教育では本人だけでなく、まず保護者や支援者も積極的に学び、支援方法を家庭でも実践しながら、その体験を周囲へ伝え理解を広めることが大切ではないか。性教育の必要性と支援の制度がないことが問題であると何度もあがっています。また保護者も悩んでおり、相談窓口が必要ではないかと話されました。

最後に曾根氏からの、「どんな制度が必要と考えるか？」という質問に、「何かの時にすぐに駆け付けてくれる制度」「制度を組み合わせても人生を丸ごと支える制度になっていない。隙間を埋めるにはどうしたら良いかを国に考えてほしい」「乳幼児期の夜中何時でもという所はどの制度を使っても足りない。ここの保証をどう考えるか」等々、様々なご意見が挙がりました。

今回のテーマは大変幅広く、内容も盛りだくさんで難しいテーマと感じました。まずは、私たち親や支援者が積極的に関心を持ち、学ぶことが大事なのではないかと考えさせられました。
(木村 益美)

川崎市育成会・やまゆりとの共催研修会

～ 成年後見制度ってなに？ ～

開催日時 2024年3月5日(木) 10:15～12:00

場所 てくのかわさき 2階 てくのホール

講師 又村 あおい 氏 (全国手をつなぐ育成会連合会常務理事兼事務局長)

※ 詳しくはチラシをご覧ください。

やまゆり研修会

副会長 加藤 敦子

令和5年11月2日(木) かながわ県民センター2階ホールにて、やまゆり生活サポート協会研修会が開催されました。講師は全国手をつなぐ育成会連合会常務理事の又村あおい氏、テーマは「知的障害のある人が地域で安心して暮らしていくために～住まいの切り口から～」です。120名定員の会場は満席でした。



知的障害がある本人や家族にとって、将来の住まいは最大の関心事の一つです。安心して快適に暮らしていける場所についての本人や家族の漠然とした不安感に対しては、具体的な課題を提案できる相談支援が重要となってきます。個々の状況や希望を理解し、将来に向けたライフプランを盛り込んだサービスを一緒に考えてくれる相談支援員がいることで、本人にとってのより良い暮らし方が見えてくるのではないかと思います。令和6年4月から通過型グループホーム(期間を2～3年に区切るもの)も制度化されますが、地域移行しても安心して暮らしていける環境であることが必要不可欠です。現在のような入所施設やグループホームだけではない、本人に合った多様な住まいの選択肢が増えていくことを願うばかりです。

すったもんだの毎日

ある日、31歳の息子が急に「〇〇眼科、行く」と言い張るので、病院へ出かけることにしました。その日は、検査が上手にできず、後日、院長先生が診た結果、眼底出血が見つかりました。「眼底出血は失明が心配だし、糖尿病の疑いもあるので、大きい病院の内科も受診して」とのお話でした。恐怖で、頭の中がいっぱいでしたが「早く!」と自分に言い聞かせ、すぐに紹介状を持って、市立病院へ行きました。

眼底出血は、目薬で経過をみていくことになり、内科では、尿検査で糖が出ていました。



血液検査は、息子が針を怖がり検査ができませんでした。お医者さんから「自己血糖測定器を購入して、自宅で測ってほしい」と言われました。薬局で測定器を取り寄せてもらい、2日後に手に入りました。私が測定するのを見せると、息子は怖がらずに測定できました。少し拍子抜けしましたが数値は高く、がっかりしました。ですが、早くわかったのだから、諦めずに食生活の改善をしたいと思います。(Y・A)

「私たちの広場」手話講習会(勉強会)

ボランティアチーフ 大橋 和之

11月12日(日)の勉強会は、手話について学びました。今回は、以前に行った手話の勉強会とは違う先生に来ていただき、講義を受けることとなりました。先生に教わった内容としては、挨拶や自己紹介のやり方、自分の名前の表現の仕方など初歩的な単語や言い回しが中心でしたが、講義では会話の中で何度も繰り返して覚えさせるなど英会話で見られる手法を多用していたことが印象的でした。



また、手話は身振り手振りを高度に発達させて作られた言語と言われるとおり、手話のひとつひとつの動きにはちゃんと意味があり、それを踏まえることで憶えることが容易になるのだなと感じました。

この勉強会を決めるにあたって本人たちが強く希望したということもあり、勉強会全体を通して、本人たちも興味を惹かれ、手話について理解を深めてくれたようです。今後も定期的に手話についての勉強会を開催していければと思います。

第49回かわしんふれあい市場

10月20日（金）川崎信用金庫本店1階ロビーにて「第49回かわしんふれあい市場」が開催され、施設に通われてる方たちの手作り品、お菓子、パンなどの販売が行われました。風の強い日でしたが、たくさんのお客様が来場され、販売担当の皆さんは、忙しそうに接客をされていました。私が手作り品を買うと可愛らしい笑顔で、おつりを渡してくれました。障害のある方々の社会参加の場が増えていくことを願っています。

次回は5月17日（金）に開催予定です。



（安達 ゆかり）

第8回ふれあいバザールみぞのくち

11月9日（木）11時より、JR武蔵溝ノ口駅南北自由通路に於いて、市内14施設の参加で開催されました。天気の良い日で、通路は商品を眺めたり購入する人たちが賑わいました。私も買物をして、そのお店の人に話かけると、「コロナの5類移行後は製品販売ができるイベントが増えてきた。自分たちもここに出店できて良かった」と明るい声が返ってきました。いただいた施設紹介のパンフレットを読んで、自分の買ったものはどのような利用者が作ったのかと想像しました。小さな製品に想いがこもっているように感じ、来年も多くの人が、製品に触れて、たくさん買物をして欲しいと思いました。



（小澤 千枝）

令和5年度川崎市障害者作品展

12月13日（水）～17日（日）アートガーデンかわさき第1・2展示室で開催されました。様々な障害のある方たちが創作した作品（絵画・写真・書・文芸・手工芸）が140点展示されました。



今回は、絵画の作品が多く見応えがありました。出口付近では、作者が制作している動画を見ることができました。楽しく熱心に取り組む姿に感動しました。根気強く前向きでありたいと思いました。今後も多くの作品の発表の場となることを願い、次回の作品展を楽しみにしています。

（板垣 ひとみ）

知的障がい児者・自閉症児者の
生サポは 家族の安心を支えます

●日常生活に関する相談支援 ●就労に関する相談支援
●権利擁護に関する相談支援 の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、知的障がい児者、自閉症児者のための病気がケガの総合補償制度をご利用いただけます。

AIG損保の普通傷害保険
生活サポート総合補償制度 特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事者事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

主な補償内容		
病気がケガで入院したとき 入院給付金	病気で死亡したとき 疾病葬儀費用保険金 ※プランによって補償します	虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 ※プランによって補償します
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金 (地震・噴火・津波によるケガも対象)	賠償責任を負ったとき 個人賠償責任保険金	就労中に他人にケガをさせたり物を壊してしまったとき 職業従事者事故対応費用補償 ※プランによって補償します

※上記は概要です。詳細は下記までお問い合わせください。

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビル2号館2F
TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774
受付時間：午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

■引受保険会社
AIG損害保険株式会社
<https://www.aig.co.jp/sonpo>
東京第二プロチャネル営業部
〒163-0814 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14階
TEL: 03-6894-9110
受付時間：午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会
〒221-0825 神奈川県横浜市神奈川区反町3丁目17番2号
神奈川県社会福祉センター5F
TEL: 045-314-7716 FAX: 045-324-0426
http://yurisapo.jp/index_qhm.php

2022年12月現在の内容です。(D-006318 2024-03)

2024年1月1日現在の加入者は9,888名です。毎月1日付で加入できます。ご加入よろしくお願いたします。

川崎市育成会手をむすぶ親の会活動報告

《令和5年10月19日～令和6年1月16日まで》

<各種会議、行事>

10月25日(水)	かわさきキャラバン隊講演	宮前区向丘出張所
11月6日(月)	障害基礎年金学習会	地域福祉施設「ちどり」
8日(水)	三役会議	オンライン
11日(土)	かわさきキャラバン隊講演	宮前地区会館まじわる宮前
14日(火)	かわさきキャラバン隊講演	多摩市民館
21日(火)	第7回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
28日(火)	第4回余暇活動委員会	地域福祉施設「ちどり」
12月1日(金)	第3回広報委員会	地域福祉施設「ちどり」
5日(火)	三役会議	オンライン
7日(木)	弘済会からの寄付金受領	地域福祉施設「ちどり」
13日(水)	第8回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
23日(土)	障害基礎年金学習会	県立麻生支援学校
1月9日(火)	三役会議	オンライン
16日(火)	第4回権利擁護委員会	オンライン

<対外行事>

10月19日(木)	障害者支援区分認定審査会	オンライン
20日(金)	かわしんふれあい市場	川崎信用金庫本店
24日(火)	川崎市社会福祉協議会評議員会	川崎市総合自治会館
31日(火)	川崎市社会福祉協議会福祉大会	カルッツ川崎
11月2日(木)	やまゆり障害児者生活サポート協会研修会	かながわ県民センター
7日(火)	第14回権利擁護セミナーin島根	オンライン
9日(木)	第8回ふれあいバザールみぞのくち	武蔵溝ノ口南北自由通路
9日(木)	あんしんセンター業務監督審議会	川崎市総合福祉センター
13日(月)	NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター運営委員会	オンライン
14日(火)	二十歳を祝う会実行委員会	地域福祉施設「ちどり」
18日(土)	全育連甲信越大会栃木大会	栃木県総合文化センター
18日(土)	第7回手をつなぐフェスティバル	とどろきアリーナ
21日(火)	障害者作品展実行委員会	川崎市教育文化会館
22日(水)	差別解消地域協議会	オンライン
28日(火)	障害者週間ティッシュ詰め作業	川崎市総合福祉センター
12月1日(土)	障害者週間キャンペーン	川崎駅・溝ノ口駅・新百合ヶ丘駅
6日(水)	二十歳を祝う会実行委員会	地域福祉施設「ちどり」
13日～17日	川崎市障害者作品展	アートガーデンかわさき
18日(月)	川崎市身体障害者協会評議員選定委員会	南部身体障害者福祉会館
18日(月)	NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター運営委員会	オンライン
21日(木)	障害者支援区分認定審査会	オンライン
27日(水)	川崎市社会福祉事業団評議員会	事務局多目的室
1月5日(金)	二十歳を祝う会拡大実行委員会	川崎市民プラザ
5日(金)	川崎市令和6年賀詞交換会	ミューザ川崎
10日(水)	川崎市社協新年賀詞交換会	ホテル KSP
11日(木)	やまゆり事業推進委員会	神奈川県社会福祉センター
13日(土)	令和6年二十歳を祝う会	川崎市民プラザ

寄付	一般社団法人 川崎市弘済会	100,000円
	高井 美恵子	30,000円
	三浦 ひろみ	5,000円

(順不同・敬称略)



令和5年度障害者週間のつどい

11月18日(土)『手をつなぐフェスティバル』会場のとどろきアリーナのステージにて、「障害者週間のつどい」が行われました。

障害福祉の発展向上における功績が顕著な方や、心の輪を広げる体験作文で入賞された方などの市長表彰が行われました。当会からは、川崎支部支部長の安達ゆかりさんが「心身障害児(者)福祉功労者」として表彰されました。

平素のご活躍の賜物とお祝い申し上げます。



令和6年二十歳を祝う会



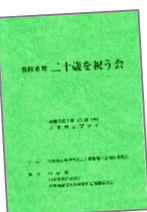
市長祝辞



洗足学園音楽大学
二十歳へのエール演奏



実行委員長挨拶



編集後記

広報紙作りに関わり4年目になりますが、常に学べる場となり感謝しています。パソコンの作業は苦手ですが、できなかつたことができるようになることはうれしく、失敗しながらも諦めずに前向きに取り組めるようになってきました。今後もより良い広報紙をお届けできるように励みたいと思います。(板垣 ひとみ)

【も く じ】

- P. 1 … 育成会会長新年のあいさつ
- P. 2 … 令和6年二十歳を祝う会 / 「手をつなぐ購読」 / ぜんち共済広告
- P. 3 … 令和6年二十歳を祝う会 誓いの言葉
- P. 4 … 第57回手をつなぐ育成会関東甲信越大会栃木大会 第1分科会
- P. 5 … 第57回手をつなぐ育成会関東甲信越大会栃木大会 第2分科会
本人会
- P. 6 … 支部通信 中原支部懇談会・川崎支部・多摩支部
- P. 7 … かわさきキャラバン隊講演 / 障害者基礎年金学習会
- P. 8 … 第14回全国手をつなぐ育成会権利擁護セミナー in 島根 /
やまゆりとの共催研修会
- P. 9 … やまゆり研修会 / すったもんだの毎日 / 私たちの広場
- P. 10 … 第49回かわしんふれあい市場 / 第8回ふれあいバザールみぞのくち
 / 障害者作品展 / やまゆり広告
- P. 11 … 活動報告 / 寄付・賛助会費
- P. 12 … 障害者週間のつどい / 二十歳を祝う会 / 編集後記 / もくじ

…編集担当…

三浦 ルイ子
高山 君子
板垣 ひとみ
安達 ゆかり
加藤 敦子
梅田 順子

発行責任者 川崎市育成会手をむすぶ親の会 会長 美和 とよみ

〒213-0011 川崎市高津区久本 3-6-22 地域福祉施設「ちどり」

TEL: 044-812-2966 FAX: 044-813-1216 <http://web-k2.jp/ikusekai-kawasaki>